

# 手軽で正確な透過率測定を実現



Photo:Type(J)

本体と反射板の間にガラスを挟み、スイッチONで透過率・反射率を簡単測定。しかも、サイドからフロントまでこれ一台で全て対応。

ローコスト透過率測定機の決定版。

## ●安価な簡易型測定機の弱点は？

日本の保安基準は「A光源」と呼ばれる白熱電球の光が基準ですが、ISO規格で作られた輸入品の簡易測定機は全てグリーンLEDを使用しています。この光源特性の違いから、グリーンガラスの透過率を測定すると本来の透過率よりも5%近く高い表示をしてしまいます。

つまり、お客様に適合品として販売したフィルムが検査で不適合になる事態が起きてしまうのです。これではお店の信用まで台無しです。

整備工場なら認証取消などの重い処罰も起こりうる深刻な事態になります。

## ●補正計算ソフトが誤差を最小に

そこで、この表示のずれを補正するため「近点校正」という方法で表示値から正確な透過率を計算するオリジナルソフトと基準になる専用フィルターを標準添付することで、簡易型でも測定誤差を極限まで小さくしました。

さらに、許容誤差率も任意に設定できるため、測定の目的に応じた合否判定も簡単に変更できます。

※Excel形式のアプリなのでインストール不要でシステムを不安定にしません。

# Pocket Detective 2.1

## NEW ●選べるオプション

2017年モデルより、メーカー装着オプションで外部電池ケースから電源供給して、入手しやすい単三アルカリ乾電池が使用できるモデルが選べるようになりました。

使用可能時間が延び、電池の調達が容易、連続測定での安定性が向上するなどのメリットがあります。

他に、Type-Jにリチウムコイン電池を内蔵するJCRモデルが追加されました。

Jバッテリーを内蔵するモデルは型番に(J)が、リチウムコイン電池を内蔵する機種には(JCR)、外部電源で単三アルカリ乾電池を使用するモデルは型番に(4AA)の記号が付きます。

(※Jモデルをお持ちで4AAやJCRに変更希望の場合は差額のみのご負担で改造できます。)

測定前校正値			
使用校正型番	Pocket Detective 3.0 Test Meter		
校正フィルター	グリーン G855		
	フィルター挿入時	フルスケール	
目標値(WLT)	71.43 %	100.0 %	
読取値(WLT)	75.0 %	99.8 %	
補正値	-4.57 % min ~	0.20 % max	

  

測定結果欄 (補正表示)			
測定箇所	表示値	補正後透過率	合格判定
フロントガラス	75.2 %	70.67 %	適合範囲内
運転席サイド	72.9 %	68.52 %	適合範囲内
助手席サイド	72.1 %	67.76 %	不適合
リアドア 右	---	---	判定なし
リアドア 左	---	---	判定なし
両窓側面 右	---	---	判定なし
両窓側面 左	---	---	判定なし
リアガラス	---	---	判定なし

専用アプリの画面



※携帯に便利なキャリングケース入り、オールインワンのセットです。



Photo:Type(4AA)

4AAモデルは外付けの電源ケースにアルカリ単三電池4本を入れて使用します。

(充電機は1.5V単三型リチウムイオン充電機が使用できます、NiMHなどの1.2V充電機は使用できません。)